



がん検診について

～30歳代のみなさんへ～

メリット

早期発見・早期治療

検診は自覚症状がない時点で行われることから、がんが進行していない状態で発見することができます。
現在では早期発見・早期治療で90%以上が治ります。がん検診ではがんになる前の病変が発見されることがあります。それを治療することでがんになることを防ぎ死亡リスクが減少します。



乳がん啓発活動を表す
世界共通のシンボルマーク

デメリット

偽陰性・偽陽性

- 「偽陰性」とはがんを見逃してしまうことです。がんが見つけない場所に出たり、がんが見つけない形をしている場合には発見できないことがあり、検査の精度は100%ではありません。ただし、**初回の検診でがんと診断できなかった場合でも、2年に1回検診を受け続けることにより、がんを発見できる確率は高まります。**
- 「偽陽性」とは検診でがんの疑いと判定されて精密検査を行っても、がんが発見されないことを指します。精密検査が必要となるのは、がんの疑いを除くためと、確かめるための2つの意味があります。**早期発見・早期治療のためにも必ず精密検査を受けましょう。**

※検診は実施機関と市が連携して行っています。精密検査の結果は、実施機関・市で保管し、公衆衛生の向上のために統計処理やそれに関わる報告等に利用する場合がありますのでご了承ください。



藤枝市オリジナルキャラクター
「がん検診受診応援戦隊
ウケルンジャー」

乳がん検診について

30歳代の人でも、「乳がん検診」を受けていただきたい人がいます！

検診はメリット(利益)がデメリット(不利益)を上まわることが出来てこそ受ける意義があるとされています。

Q では30歳代で、メリットがデメリットを上まわる人ってどんな人なのでしょうか？

A 家族に乳がんにかかった人が多くいる人です。(特に近親者に3人以上乳がんにかかった人がいる場合)

以下のチェックリストの中で、当てはまる項目がある場合は、専門医(乳腺外科・外科)にご相談することをお勧めします。



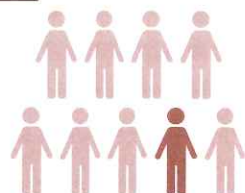
遺伝性乳がんのハイリスクチェックリスト ※この場合の近親者：親、子、兄弟姉妹、おじ、おば、めい、祖父、祖母、孫、いとこ

- | | |
|---|---|
| ☐ 40歳未満で乳がんになった近親者がいる。 | ☐ 抗がん薬、分子標的薬、ホルモン療法のいずれも治療が難しいといわれた乳がんの近親者がいる。 |
| ☐ そのうちの一人は20～30代で乳がんを発症している。 | ☐ 近親者に乳がんの患者が3人以上いる。 |
| ☐ 近親者の中に両側の乳房に乳がんができた人がいる。 | ☐ 近親者の男性で乳がんを発症した人がいる。 |
| ☐ 年齢を問わず、近親者に卵巣がんになった人がいる。 | |
| ☐ 年齢を問わず、近親者に初発乳がんを2個以上発症した人がいる。 | |

40歳になったらマンモグラフィを受けましょう

2年に一度、定期的に受けることが大切です。乳がんは、女性の罹患率第1位！
およそ9人に1人ががんとして診断され死亡原因の上位に位置するがんです。

40～60歳代は特に乳がんにかかりやすい年齢です。
藤枝市の検診(令和元年～令和5年度)では、85人に「乳がん」が発見され、治療につながりました。早期発見で95%以上が治癒します。



乳がんになりやすい人は？ ※当てはまる項目がなくても、危険因子を持たずにがんにかかる人もいますため定期的な検診が必要です。

- | | | |
|---|---|----------------------------------|
| ☐ 初潮年齢が早い(10歳以下) | ☐ 授乳経験がない | ☐ 閉経後の肥満 |
| ☐ 閉経年齢が遅い(55歳以降) | ☐ 40歳以上である | ☐ お酒をよく飲む |
| ☐ 出産経験がない | ☐ 高身長 | ☐ たばこを吸う |
| ☐ 初産年齢が遅い | ☐ 母親や姉妹に乳がんにかかった人がいる | |

子宮がん検診について

検診は20歳以上、2年に1度定期的に受けることが大切です。

子宮がん検診を受けましょう

子宮頸がんは罹患する人(かかる人)がわが国の女性のがんの中でも多く、20歳代後半以降から増え始め、特に30～50歳代の女性で近年増加傾向にあるんです。

藤枝市の検診(令和4年度・5年度)では、66人が「がん」または「前がん状態」と診断され、治療につながりました。早期発見ができれば90%以上が治癒します。

子宮頸がんは感染から発症まで平均5～10年かかるの。
早期には自覚症状がないから
「異常を感じたら」では手遅れになる
場合があるのよ。だから定期的に受ける
ことがとっても大事なの。



藤枝市オリジナルキャラクター
「がん検診受診応援隊
ウケルンジャー」

子宮がん検診の流れ

藤枝市がん検診は登録制です。

子宮がん検診の登録がなく、受診希望の人は受診券を発行いたしますので、健康推進課(☎645-1111)へお申込みください(メール・FAXも可)

予約

もしくは

直接受診

※詳しくは、受診券および同封物をご覧ください。

受ける



約3～4週間後、
検査結果
が届く

「精密検査が必要です」

という結果なら、必ず医療機関で検査を受けましょう。内容はコルポスコープ(膣拡大鏡)を膣内に入れ異常がないか調べたり、組織を一部取りがん細胞があるかどうかを調べる検査、HPV検査などを組み合わせて行います。

月経(生理)以外に出血がある、月経が不規則などの症状がある人は、検診を受けずに直接保険診療での受診をしてください。

※藤枝市立総合病院の受診には紹介状が必要です。

「精密検査は必要ありません」

という結果なら、次回は2年後に受診券が発送されます。定期的に検診を受けましょう。



Q 検診では何をするの？

A

①医師による診察

②細胞診(子宮の入り口を、先にブラシのついた専用の器具でこすって細胞を取り異常がないか顕微鏡で調べます)

検診時間は15分程度、痛みはほとんどありません。



子宮がんになりやすい人は？※当てはまる項目がなくても、危険因子を持たずにがんにかかる人もいるため定期的な検診が必要です。

☐ 20歳以上の女性である(頸がん)

☐ 喫煙の習慣がある(頸がん)

☐ 閉経年齢が遅い(体がん)

☐ ホルモン補充療法の経験がある(体がん)

☐ 妊娠・出産の回数が多い(頸がん)

☐ 40歳以上の女性である(体がん)

☐ 妊娠・出産の経験がない(体がん)

☐ 肥満・運動不足である(体がん)



「子宮頸がん」「乳がん」「がん検診」などの情報についてもっと詳しく知りたい人は、国立がん研究センターのがん情報サービスをご覧ください。
わかりやすく確かな情報を得ることができます。

国立がん研究センターのがん情報サービス

ganjoho.jp

検索

